

## 岡田まさあき 市政報告

無所属・市民派

市民の目線で行動します！



## 本当の『子育て日本一』をめざして

## 不登校の支援について 「学ぶ場」決めるのはこども!!

令和3年度の不登校の調査結果が公表されました。不登校の小中学生が過去最多で、全国で約24万人、岐阜県4371人、大垣市で357人です。その中で全国的には、デジタル教材などによるホームスクーリング（自宅学習）を「出席」と認める学校が増えています。不登校の支援は「治す（直す）」より「受けとめる」ことから始めましょう。そのためには、いろいろなメニューのラインナップと実践が必要です。人生の学習期・思春期・青年期に悩む子どもたちが自立し、一生に一度しかない人生を幸せに生きてもらいたいです。

## 私の提言

- ①岐阜県は、スクールカウンセラー増員と利用時間を増やすこと
- ②各小学校に1名以上、各中学校に2名以上の「ほほえみ相談員」を配置
- ③先進事例を取り入れた教職員研修の充実

- ④メタバースなどを利用した「オンラインの自立教育」の充実と全小中学校への設置
- ⑤小・中・高の特例校の設置
- ⑥特例校・フリースクール参加者への補助
- ⑦保護者会への教員の事務局員の配置

## IAMASを西濃地区の特例校にしましょう!

競売の入札が不調に終わった場合は、取り壊され住宅になる予定です。

IAMAS  
大垣市朝家町

大垣市内にお住いの方より  
メールをいただきました

岡田まさあき市議会議員のNo.65令和4年9月議会の市政報告を読みました。不登校支援について、質問をして頂き、ありがとうございました。

私は、小学5年の子どもが二人います。二人の子どもは、小学3年の秋から不登校になりました。私は、令和3年11月に石田市長と本教育長宛てに、公立不登校特例校の設置をしてほしいと、嘆願書を提出しました。私が嘆願書を提出したからといって、私の声が市政には届かない事は知っています。先日、私は岐阜市立草洲中学校の学校説明会に参加しました。もし、私の二人の子どもが、草洲中学校に入学する事ができれば、岐阜市へ引越しをする事を考えています。私は、大垣市にも近い将来、公立の不登校特例校ができる事を期待しています。これからもよろしくお願い致します。

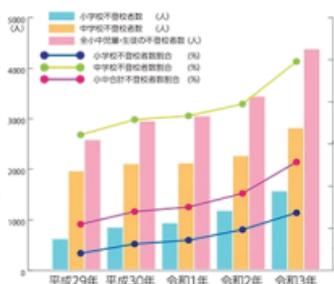
※特例校とは、不登校児童・生徒等の実態に配慮し、教育課程の基準によらず、特別の教育課程を編成できる学校  
(例：岐阜市の草洲中学校・揖斐川町の西濃学園 など)

岐阜県と大垣市は、8年余り使っていない IAMAS(情報科学芸術アカデミー-大学院大学)を令和5年3月末までに競売に出します。IAMASを西濃地区の特例校にしましょう!



大垣は県内でも不登校の子どもの割合が高いわね

## 岐阜県の不登校児童・生徒数の推移



## 大垣市の不登校児童・生徒数の推移



## こどもファーストを

こどもが主役であり、誰ひとり取り残さない少人数の教育をめざしましょう。

特例校の設置などの不登校対策を行いましょう。ふるさとの学校を大切にしましょう。

## 教職員の働き方改革

教職員がこどもたちに生き生きと接することができる環境を創りましょう。

加配教員・安全管理者・スクールカウンセラー・各種相談員を増員しましょう。

## 県立高校の改革

中等教育学校(中・高一貫教育の学校)を設立しましょう。

インクルーシブ(共生)のシステムを導入しましょう。